

第2回紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 要旨

日時：平成27年8月31日（月） 13：30～

場所：紀の川市役所本庁舎3階 庁議室

出席者： 12名

欠席者： 3名

1. 開会

2. あいさつ （森本企画部長、仁藤会長）

3. 議題

（1）前回（第1回）議事録の確認

（2）紀の川市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン（案）概要説明

→事務局より概要を説明。将来展望人口を45,000人とすることに決定。

（3）紀の川市まち・ひと・しごと創生本部各部会の報告

（4）紀の川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標の設定について

→本部会（案）のとおり決定

[意見要旨]

- ・京奈和関空連絡道が出来たらどのように活用していくかが重要。関空まで9kmの距離というのは圧倒的なアドバンテージである。
- ・観光だけでなく、いかに紀の川市でお金を遣ってもらうかを考えるべき。
- ・農業について、海外へ展開していく戦略をどのように作っていくか。
- ・泉南市は関空との立地を活かして、「空の駅」を作ることを検討しているとのこと。
- ・どういう地域戦略をとるか。
- ・少子高齢化によって産業分野は高齢者の働き方が変わる。
- ・農協は既に桃や柿を台湾などに輸出している。現在農協は130億円の販売高があるが人口が減っても維持できると思うが、逆にどのように人口増加に結びつけるかが問題。農業従事者のほとんどが65歳以上。桃山の桃農家が1件廃業したら、桃部会の誰かがその畑を作る。
- ・大手の宅配便では海外宅配が始まっている。売れる商品がわかればマーケットは拡大する。そういうツールを利用できるか、そういうトレンドを捉えていくべき。
- ・関空でのフルーツの扱い量が増えていて、イオンは海外にも店舗がある。
- ・桃については、海外から大量の発注（5,000～6,000tなど）あったら供給ができないという側面もある。
→いただいたご意見等、今後の戦略策定の参考とさせていただきます。

閉 会